

令和2年度第3回宮崎県社会教育委員会議
【社会教育におけるオンライン会議の活用について(まとめ)】

令和2年12月12日(土)
宮崎県教育研修センター

I オンライン会議を活用した生涯学習実践研究交流会について

(I) 実践発表に関する御意見・御感想について

実践発表①[ツノスポーツコミッション]

- 地域の活性化は、地域に住む者のみを対象として考えがちですが、スポーツによる地域の交流、産業の活性化等を図る素晴らしい発表でした。
- 都農町と JFC の不足しているところをうまく補い合えるよい関係性を構築できていると感じました。選手が地域おこし協力隊として活動されていることも、まちの活性化に確実に繋がっていると思いました。
- ツノスポーツコミッションが地域の課題解決として取り組んでいることが、今までにない「スポーツで」ということ、活動内容も「こうしてみたい」「こうだったらいいな」という思いのあるものと感じました。また、役場など公的なものとは別に、このように「つなぐ」「企画・実行する」団体があることで大きく違ってくると思いました。
- 地域活性化においては、「核」となる事業を据えて、これから放射線状に人・モノ・コトとの広がりを呼ぶことができる。ただ、これを県内の各市町村で取り入れる上では、県内各市町村の情報を踏まえることと、他と競合せずに、win-winの関係、もしくは相互に協力できるようなものを選択することが求められると感じました。これからの発展がとても楽しみな事業だと思いました。
- 子どもから大人まで受け入れやすいスポーツに特化した地域づくりの発想が素晴らしいと思いました。スポーツ=イベント集客と捉えるのではなく、産業活性、人口誘致、地域活性等への着目がよかったです。また、JFC・MIYAZAKI の選手をお客様扱いすることなく、町の財産として活用している点もよいと思いました。
- まちづくりにスポーツを活用した取組が素晴らしかったです。中でも、「つの職育プロジェクト」は魅力的な取組であり、「ツノスポーツコミッション」、「都農町」、「JFC MIYAZAKI」が連携、協力することにより、お互いの課題解決につながるのではないかと思います。
- スポーツに着眼して、スポーツをツールとしての地域活性化事業は、将来性がある素晴らしいプロジェクトであると思います。都農町の発展に希望がもてると感じました。県内に広まればよいかなと思いました。課題は、定住率を高めることだと思います。
- 画面を通して、新たな企画が生まれたり、次なる展開を見たりすることができたのはよかったです。

実践発表②[延岡商業高等学校流通経済部]

- 高校生らしい発想を生かした取組(グルメサイト、メニュー表、墓参り、イベント等)が素晴らしかったです。地元愛にあふれた高校生に拍手喝采です。若さがあふれ、実践意欲が前面に出ていた素晴らしい発表でした。
- 内容が素晴らしすぎました。起業家から見ても、高校生の視点や分析力、行動力の素晴らしさを目の当たりにした感じです。指導者の力の素晴らしさを感じました。
- 延岡市の財政状況から、ふるさと納税、商品開発、メニュー開発、メニュー表作成、損益計算など、幅広く研究し、商業高校ならではの取組をされていると感じました。また、活動内容については、先生方からではなく、皆の話合いで決めたとのことで、積極的な取組であると感じました。
- 延岡市のデータを分析している点が素晴らしいと思いました。また、授業で学ぶ→実践を目に見える形にしている点がよいと思いました。全ての企画の中に、「延岡をよくしたい(地元愛)」という気持ちが根底にあることで、地元貢献の気持ちをもてるのではないかと思います。コロナ禍だからこそできる企画という視点は私たち大人も見習いたいです。
- 故郷を知り、理解を深め、何ができるかを考え、行動を起こすための企画、…等、学校の特色を生かし、かつ若者のもつエネルギーと豊富なアイデアを生かした活動に感銘を受けました。部顧問の先生の御指導が

素晴らしいのだと思います。県下の他の高校でも、このような活動があると、地域活性化していくように思いました。

- 延岡市の活性化を目指し、高校生にできることに取り組んでおり、高校生の若いアイデアや学校で学んだことを生かした企画や実践は素晴らしいと思いました。
- 授業内容と活動対象者（店、商店街）でできることを定めて取り組む中で、生徒が、実践→課題解決の繰り返しによって学べていると感じました。特に、授業内容と活動対象者でできることに取り組んでいることが重要と思いました。
- ウィズコロナとして、大人も頭を悩ませている課題に、高校生の柔軟な発想で、ふるさと返礼品を考えたり、リモート観光案内の企画を立てたりと、勉強になりました。町の予算や経済も十分に調査された上での素晴らしい活動だと思いました。

◎ 前例・枠にとらわれない、楽しんだ企画があったことが、両発表に共通していたと思います。

(2) オンライン会議を活用した実践研究交流会を通じた参加者の学びについて

質 問 項 目	できている		できていない
	A	B	C
① 学びについて 実践事例をもとに、お互いに意見交換することができていたか。	A	B	C
	8	1	0
【気付かれたこと】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 県内外の方と交流でき、大変よい意見交換であったと思います。また、発表された2団体が、今後交流することにもなり、よい実践交流会でした。 ○ 発表した団体同士がつながる等、事例発表したことで、団体が新たな発見をすることができていました。 ○ 意見交換を聞くことにより、視聴者としても内容の深まりと広がりがありました。 ○ 一人一質問にするなどして質問者数を増やし、もう少し色々な人の意見を拾ってほしかった。 ○ 参加者の顔が見られるのがとてもよいと思います。 ○ 双方向の意見交換があり、ツノスポーツコミッションと延岡商業高校の新たなコラボも楽しみです。同じ方の発言が続いていたように感じましたが、司会から指名してみてもよいのかなと思いました。 			
② 研修機会の提供 みやぎきの生涯学習・社会教育について考える機会となっていたか。	A	B	C
	9	0	0
【気付かれたこと】 <ul style="list-style-type: none"> ○ 発表を聞いて感心するばかりでしたが、先生方、行政職員の方々等、多くの方に聞いていただき、行政、民間、学校が一体となれば、まだまだ活性化が図られるのではないかと感じました。 ○ まちづくり、地域づくりに、移住してきた人の視点や高校生の力を取り入れることの効果の大きさが改めて分かりました。 ○ オンライン会議システムを利用すると、研修機会が増え、幅広い層に研修を提供できて大変よいと思いました。 ○ 参加者の年齢、地域が多様であり、発表の刺激、影響が広がりそうと感じました。 ○ 意識しなくとも、生涯学習・社会教育が実践できていると思いました。 ○ 常に生涯学習（地域づくり）を考えた内容に感動しました。 ○ 今回の開催は、やること自体に意味があったと思いますが、発表内容を、自分自身の活動にうまく盛り込めないかを考えるなど、自分も含めて、会場の反応から、よい機会になっていたと思います。 ○ コロナ禍は、世の中を変えました。人が集まることができないのであれば、「オンラインの活用」があります。ウィズコロナ、アフターコロナを踏まえた研修の機会になっていました。 			

2 今後の社会教育における効果的なオンラインの活用及び活用時における配慮事項について

- 初めてオンライン会議を見せていただきました。一堂に会することなく、どこからでも参加でき、旅費も必要なく、今後はこのような会議が多くなるものと思います。今日は、見て、聞いてのみでしたが、自分で会議に出席となると、何をどのようにすればよいのか全然理解しておりません。私が就職した頃は、手回し計算機の時代であり、パソコンを理解されている高齢者は少ないのではと思っています。オンラインを活用した会議を行う場合、高齢者には十分なサポートが必要ではないかと思っています。
- 事前に伝えたいことが整理できていれば、現地に足を運ぶことが難しい方も通信環境さえ整えば参加することができるので、オンラインも有効に活用できると思います。
- オンラインは、県内外どこからでも参加できるのがよい。
- オンライン開催により、参加ハードルが下がる人もいます。
- オンラインでもプレゼンの説明は分かりやすく、音声も聞き取りやすかったです。質疑応答も支障はなく、今後、このような機会を増やしてほしいと思いました。
- 新型コロナウイルスの影響を受けず、思いや内容が十分伝わることを考えると、実践、取組、成果の発表はオンラインでできると思います。ただし、協議段階については、オンラインは難しいと感じます。
- 参加者の手元に資料が準備できないので、見逃してしまったり、もう一度振り返ったりできないことが難点です。
- オンライン会議を実施する前には、周知・広報に力を入れてほしい。
- 子育て中の方や仕事などで会場出席ができない方にとっては、大変助かりますが、こうした方への広報活動が肝になってくるのではないかと考えました。
- 申込者数と実際に視聴した人の差が小さくなるとよいと思います。
- 今回は、定員を超える参加があったことから、広報・周知がうまくいったのではないかと思います。オンラインで出席できる環境がない方も出席できるような策が、今後の課題と感じます。コロナ禍で、この環境整備の必要性はあるものの、団体が解決できるものではないため、サテライト会場の設置などがあるとよいのではないかと思います。
- Zoom等の通信で使用する容量が大きい場合等、支障はないか。
- 名前の下に所属を書くなど、発言者がどういう立場(所属)の方か分かってよいと思いました。発言前に自己紹介された方もいますが、この方は???と思いながら発言を聞きました。発言をより理解するためにも大切かと思っています。
- よい意見・質問であれば、「チャット」も拾い上げてよいと思います。
- このコロナ禍において、閉塞感がある中、素晴らしい会であったと思います。リモートでも十分な効果はあると感じたのですが、やはり face to face であれば、人とのつながりがよりできていくのだろうと…。来年は face to face の交流会となることを願っております。
- 社会教育は、対面交流が重要だと思います。オンラインを活用するにしても、対面交流のよさを生かせる場がほしいと考えます。

[生涯学習実践研究交流会について]

- 当初の話合いで、コロナを視野に入れて、オンラインの可能性を話し合っておけたことがよかったです。
- 交流会をオンラインで開催する試みは非常によかった。
- 各エリアから参加ができることで、参加者の広がりができたのがよかった。
- 今後は、オンライン前提の準備を本格的に行ってみるのもよいと思いました(画像の背景)。

3 その他

- 多方面から社会教育委員になっておられ、毎回出席はさせていただいておりますが、先生方の御意見は感心することはかりです。多くの意見を集約整理される事務局の先生方の御苦労も大変だろうと思います。
- 本会の意義を改めて実感した時間となりました。また、自分は何ができるのか、そして今後、県内ではどのような取組が必要になるのかを考える時間でした。
- まちづくり、宮崎を好きになる、ふるさとを愛するという視点を視点に入れながら、魅力ある実践交流会を開催できたことがよかったです。
- 休憩時間の宮田さんのちんどんがよかったです。交流会に限らず、宮崎ならではのアトラクションになると思います。